

平成 24 年度 第 2 回我孫子市石けん利用推進協議会会議録

開催日時 平成 24 年 9 月 26 日（水） 午後 2 時から午後 4 時
開催場所 市役所分館 大会議室
出席者 委 員：竹中真里子、今村賢之助、井田貴子、加藤マリ子、八鍬雅子
中村治子、玉田千代子
事務局：商工観光課課長・杉山敦彦、商工観光課課長補佐・飯島洋子
商工観光課消費指導担当・岩脇恭子
傍聴者：無し

1. 開会の辞

2. 議事

(1) 平成 24 年度前期事業報告

事務局より資料に基づき事業報告があり、意見交換をした。

石けん販売店調査

- ・高額な外国産の合成シャンプーが多くなっている。
- ・クエン酸入り等の石けんはあるが、売り場が狭くなっている。
- ・同じ系列店であっても店舗により石けん売場の充実度が違っている。
- ・天王台の店舗で、せっけんハミガキが復活していた。
- ・布佐地区の店舗ではせっけんの取り扱いが少ない。
- ・啓発用のチラシを持参したことや、市からの事前通知が店に届いていたことで、調査がしやすかった。

保育園夕涼み会

- ・今年度はすべて雨天により中止となった。子育て世代へ伝える機会として、雨天であっても実施できるようにしたい。雨天の場合の代替え案も含めて、園長会議で依頼する。

(例) こねこねせっけん遊び・ブラックライトを使ったお絵かき遊び等

手賀沼流域フォーラム石けん講座

- ・参加者は小学校低学年が多く、説明内容を一部変えて実施した。もう少し内容を検討する必要がある。
- ・こどもの舌は敏感で、ハミガキ実験でせっけんとの違いを実感してもらえた。

あびこで子育て「ママへのごほうびフェスタ 2012」

- ・我孫子市保育課とイトーヨーカドーで実施したイベントに急遽参加した。

- ・せっけんをすでに使っている人や、関心をもっている若い親たちがいることから、更に若い人たちへ向けた啓発も必要である。

(2) 平成 24 年度後期事業計画 (案)

事務局より資料に基づき説明された。

福祉ふれあいプラザ「親子体験教室」

- ・タイトルを「石けんのよさを知ろう」としたい。
- ・こねこねせっけん遊びは別の部屋でできないか。(工作室入口のスペース等)

第 37 回消費生活展

- ・平成 25 年 2 月 11 日 (日)、12 日 (月・祝) に開催される。2 月 9 日 (土) の準備から全員で協力してする。

(3) 市役所内石けん啓発

事務局より資料に基づき説明された。

- ・環境経済部長から庁議の席で啓発について発言する。その後、各職員に啓発文を発信する。文書については更に検討する。
- ・NPO せっけんの街から、「ジェルせっけんこはく」を庁内啓発用のサンプルとしていただけることになった。
- ・近隣センターに対しての啓発は、石けん利用推進協議会が行うこととし、まちづくり協議会運営会議での啓発と、各センターの水道のところに置く啓発用のプレートを作り配布する。

3. その他

- ・25 年度予算で
啓発用のエプロンの新調・ビニール製の横断幕・幟旗の新調のための費用を要求する。
- ・生活クラブ生協で開催した「せっけんを使ったクリーニングの話」を我孫子でも実施したい。

4. 閉会の辞